

学期末を迎えるにあたり

統括校長 川崎 貴志

校庭では、1年生が育てているアサガオの蔓がぐんぐんと伸び、2年生が育てているミニトマトやキュウリが実を付け、5年生が花壇を改装した水田では、稲が青々とした葉を伸ばしています。

1学期も早いもので後10数日の授業日となりました。振り返ってみますと、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、ほぼ通常の教育活動を実施することができました。特に、遠足や社会科見学、生活科や総合的な学習の時間での校外活動等が制限なく実施できたことは、子供たちの学びの幅を大いに広げることができました。さらには、集団行動でのルールやマナーの大切さ、子供間の人間関係の深まり等も見られ、多くの学びを得ることができたと実感しているところです。

コロナ禍で導入されたGIGAタブレットの活用も一層進んでいます。カメラ機能で気付いたことを撮影し保存したり、目的のWebページを検索したりすることはもちろんのこと、プレゼンアプリで情報を加工し、まとめ、発表したり、付箋アプリを使って自分の考えを書き込み、子供たち自らが分類し、クラスで情報を共有することで、自らの考えを一層深めたり等、様々な活用方法が広がっています。また、教師は、タブレットを介し、瞬時に学級の児童の考えを把握したり、必要な教材を児童に配布したりと、授業の在り方が大きく様変わりしつつあります。授業中は、筆箱や教科書、ノートとともに、子供たちの机の上に日常的にタブレットが置かれ、学習のツールとして当たり前のように活用されています。

この度、本校では情報モラルやリテラシーの一層の向上を図ることをねらいとし、7月5日(水)に5年生の児童・保護者を対象に東京都教委員会主催事業として「親子GIGAワーク教室」を開催することとなりました(詳細は、本学校だよりにてお知らせしています)。参観は5年保護者限定となりますが、お時間がありましたら、お子様と一緒に御参加いただき、適切な活用について理解を深めていただけますと幸いです。



1年生の生活科の学習の様子



6年生の国会議事堂見学の様子

7月の生活指導

学校をきれいにしよう!

学校には、共同で使う物が多くあります。次の人が使うことを考えて整理整頓すること、物を丁寧に使うことが大切です。また、本校の落とし物コーナーは、たくさんの物であふれています。落とし主が見つからず、廃棄されるとゴミが増えてしまいます。物を最後まで大切に使うことは、自分自身の周りの環境をきれいに保つことに繋がっていくのかもしれない。一人一人が意識できるように、日常の活動等の場面で子供たちに伝えていきます。

夏休みの生活

早いもので、7月は夏休みを迎えます。家庭で過ごす時間が多くなり、自転車に乗る機会も増えると思います。令和4年度の自転車乗車中の死者数のうち、約6割は頭部損傷が主因となっているとのことです。令和5年4月1日から道路交通法では、自転車利用者の全世代にヘルメットの着用が努力義務となりました。大人も子供もヘルメットを着用して、安全で楽しい夏休みを過ごせるよう、御協力ください。